



FISL News Letter

国際連帯税・金融取引税

第4号 / 2014年5月12日

◆発行・連絡先：国際連帯税フォーラム (FISL) 事務局◆

FORUM FOR INTERNATIONAL SOLIDARITY LEVIES (FISL)

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 3F オルタモンド気付

Tel: 03-3831-4993 Fax: 03-3834-2406 ウェブサイト: <http://isl-forum.jp/>

● 欧州 10 カ国金融取引税 (FTT)、2016 年 1 月より実施！

5月6日ユーロ圏財務相会合が行われ、懸案の金融取引税につき「遅くとも2016年1月1日に導入」ということが合意されました。株式および一部デリバティブ取引への課税からはじめる予定ですが、まだ技術的問題が残っているため、制度面での詰めが残りしました。

実施時期がやや遅くなった感があります

が、今年中に技術的問題を解決し、その後導入予定国内での承認を取るという流れからすると、1年以上の時間がかかるようです。

金融取引税が導入されると、下記のような3つの役割を果たすことができます。欧州で具体的に動き始めた現在、日本でも金融取引税につき真剣に検討していく必要があります。

金融取引税3つの役割：①国家財政への貢献、②金融投機の抑制、③国際連帯資金

● 「持続可能な開発と気候変動そして革新的資金の役割」 専門家会議

6月19-20日パリにおいて表記の専門家会議が開催されます。主催は、日本政府も参加している「開発のための革新的資金調達に関するリーディング・グループ」(65カ国参加)。

現在世界では、ポスト2015に向けて持続可能な開発問題が議論され、気候変動問題の議論とともに、資金をどう調達するのかが

重要な課題となっています。

今回の専門家会議では、政府開発援助(ODA)とは異なる新しい資金源としての革新的資金(航空券連帯税や金融取引税(一部)などの税制も含め)について総合的に検討し、その結果を世界に提案していこうというものです。日本政府とは別に国際連帯税フォーラムからも参加します。

写真：ナイジェリアでのリーディング・グループ総会(14年1月)



【ご案内】 forum ゼミ：デリバティブ取引勉強会

今日の投機資金・マネーゲームの中心になっているのがデリバティブ取引です。次回の勉強会では、この中で最大の取引量となっている金利スワップなど金利関連デリバティブを主に勉強します。

- ・日時：6月13日(金)午後6時30分～8時30分
- ・会場：自治労会館 2F「会議室 A」(東京都千代田区六番町 1)
- ・講師：木村瑞穂(未来バンク事業組合事務局長)

◎申込み：以下のアドレスから「forum ゼミに参加希望」とお書きの上お申込み下さい。 info@isl-forum.jp

記事の詳細は、<http://isl-forum.jp/>